下関
幕末維新150年に注目
功山寺・関門海峡・吉田

山口県下関市は、2018年の明治維新150年に向けて様々な取り組みを行ってきた。そんな中、今年はNHK大河ドラマ「花燃ゆ」が放送をスタート。下関市は、これまで大河ドラマで「武蔵MUSASHI」「義経」「平清盛」などドラマの舞台やゆかりの地として、観光客の誘致に成功してきている。

大河ドラマの舞台

「花燃ゆ」の主人公の杉文は、吉田松陰の妹。杉文の最初の夫である久坂玄瑞は吉田松陰の松下村塾では、高杉晋作と双璧といわれた秀才。下関戦争や奇兵隊結成など下関には、幕末維新のゆかりの地も多く、ドラマへの登場が確実視されている。

ドラマ2部は、松下村塾の教え子たちが攘夷を実行し、「禁門の変」で久坂が死ぬまで。下関では、久坂玄瑞が1863年に光明寺党（奇兵隊の前身）を結成。外国船砲撃を実行した（外国艦船砲撃事件）。6月に米・仏の報復攻撃があり、高杉晋作の奇兵隊は、伊藤助太夫邸の敷地内の赤間神宮の隣にある阿弥陀寺を本拠地にした。

8月にはイギリス、フランス、アメリカ、オランダの4カ国連合艦隊が下関を砲撃、砲台が占拠されるなど関門海峡や赤間神宮が舞台となる。

3部は高杉晋作による「功山寺挙兵」がクライマックス。高杉晋作、久坂玄瑞、小田村伊之助（楫取素彦）、白石正一郎らのやり取りした貴重な手紙などを展示。「花燃ゆ」第1回に登場した大砲と同じ型の荻野流一貫目製銅砲の実物も展示されている。常設企画展終了後も継続して、花燃ゆ関連の展示は継続されるが、同博物館は、2016年秋に新博物館がオープンすることから、5月末をもって休館の予定。その後は、下関市立東行記念館に一部展示が引き継がれるほか、他の施設での展示も検討されている。

功山寺挙兵はクライマックスのひとつ

幕末維新の時代も様々な出来事が起こった関門海峡

歴史上のクライマックス 功山寺と関門海峡

「花燃ゆ」ゆかりの地 功山寺（下関市長府川端1―2―3）

1865年に高杉晋作が長州藩内の俗論派打倒に起こした軍事クーデターが功山寺挙兵。近年では、功山寺のある城下町「長府」のまちなみは、2013年度都市景観大賞で大賞を受賞。長府の歴史は古く、「日本書紀」にも登場する。江戸時代には、長府毛利藩5万石の城下町として栄え、武家屋敷の土塀や門などが独特の雰囲気を醸し出す歴史的なまちなみ、古江小路、横枕小路、壇具川などゆかしい名前に歴史を重ねて歩く旅が人気だ。長府毛利邸と長府庭園もある。桜と紅葉の名所としても知られる。

功山寺に隣接する下関市立長府博物館（下関市長府川端1―2―5）では、常設企画展「勤王商人 白石正一郎」と常設企画展「松陰門下と下関」を2月15日まで開催。手紙のやりとりは、「花燃ゆ」の中でも、象徴的なシーン。高杉晋作、久坂玄瑞、小田村伊之助（楫取素彦）、白石正一郎らのやり取りした貴重な手紙などを展示。「花燃ゆ」第1回に登場した大砲と同じ型の荻野流一貫目製銅砲の実物も展示されている。常設企画展終了後も継続して、花燃ゆ関連の展示は継続されるが、同博物館は、2016年秋に新博物館がオープンすることから、5月末をもって休館の予定。その後は、下関市立東行記念館（下関市吉田1184）では、通年で企画展を開催。4月5日までは、「晋作を支えた人々」、4月7日～7月5日「高杉晋作の生涯」、7月7日～10月4日「晋作をめぐる群像劇」、10月6日～2016年1月11日「奇兵隊のふるさと吉田」、2016年1月13日～4月10日「晋作を語り継ぐ」。晋作ゆかりの本物を見せる。料金は大人300円、大学生200円、小中高生は無料。

長府博物館

東行記念館

晋作ゆかりの吉田 東行庵（下関市吉田1184）

東行庵は山口県下関市下関市立東行記念館の高杉晋作が高杉を顕彰した大きな碑があり、「動けば雷電の如く、発すれば風雨のごとし」と刻まれている。早春は梅、初夏は菖蒲、秋は紅葉の名所として知られている。

桜山神社

光明寺（下関市細江町1―7―10）

1863年に久坂玄瑞は、関門海峡を通航する外国船を砲撃する準備を整えるため、50人の同志を率いて下関の光明寺を本陣とし、光明寺党を結成。この光明寺党が後の高杉晋作が率いた奇兵隊の前身となる。

光明寺党は、光明寺に寄宿しており、本堂の柱には浪士が付けた刀痕や槍痕が残っている。

壇之浦砲台跡（下関市みもすそ川町1みもすそ川公園）

1863年に、高杉晋作や久坂玄瑞ら長州藩は関門海峡を通る外国船を砲撃。翌年8月、アメリカ、イギリスなどの四国連合艦隊に大敗し、すべての砲台が占領・破壊された。これをきっかけに長州藩は、開国・倒幕へと転換した。

現在は長州砲のレプリカが展示されている。

青春交響の搭（下関市あるかぽーと5番）

下関市唐戸あるかぽーとにある。高杉晋作と坂本龍馬の出会いを称えて建てられた。高杉晋作と龍馬のレリーフが入っている。

高杉晋作終焉の地

下関厳島神社

下関駅周辺ゆかりの地

下関駅前付近から徒歩約20分程度のところの下関市新地界隈に晋作ゆかりの地がある。

桜山神社（下関市上新地町2―6―22）

高杉晋作が自身より若く亡くなり、身寄りのいない奇兵隊士らのことを心配し奇兵隊士らが建設した。東京招魂社（後の靖国神社）の母体になった。

境内には桜山神社招魂場があり、吉田松陰、高杉晋作、久坂玄瑞、山県有朋ら396柱の志士がここに祀られている。

高杉晋作終焉の地（山口県下関市新町3番 妙蓮寺前）

新地の酒造家林家の離れを借り、療養生活を送っていたが肺結核のためかぞえの29歳で亡くなった。昨年、整備が行われ2カ所のスタンプでプレゼントに応募できる。

また下関～萩間の高速道や一般道、JR利用のモデルコースも紹介。最短は高速道路利用で約1時間で移動できる。途中、角島や瓦そばで有名な川棚温泉をめぐるコースも紹介されている。

歴史体感☆紙芝居

懐かしい紙芝居用自転車を忠実に再現し、個性豊かな演者が臨場感あるパフォーマンスと語りを披露。

期間は、1月8日～6月30日は、「晋作と龍馬」。7月1日～8月31日は、「怪談 耳なし芳一」。9月1日～12月25日は、「壇之浦合戦絵巻」。

開催場所は、関門海峡を臨む、みもすそ川公園。上演時間は10時～15時の毎正時。

幕末・維新 女たちの下関

吉田松陰・文の母滝は、下関市内にあった阿川毛利家の家臣の三女として1807年に出生している。下関は、伊藤博文の妻・梅子、山縣有朋の妻・トモなども下関出身であるほか、坂本龍馬の妻・お龍、木戸孝允の妻・松子などとも関係が深い。さらに、女奇兵隊士、近藤勇の娘などを取り上げ、パンフレットを作成した。

幕末維新の特別企画 高杉晋作没後150周年記念「維新体感萩・下関スタンプラリー」

山口県萩市と下関市は、2012年10月29日に高杉晋作没後150周年記念広域連携事業協定を調印。高杉晋作にスポットを当て、両市のゆかりの地などを共同で全国にPRしている。

2014年度は「萩・下関グルメスタンプラリー第2章」を3月31日まで共同で開催。大河ドラマ「花燃ゆ」ゆかりの地周辺のグルメスポットを巡る。各市1カ所で合計

名作「あなたへ」ゆかりの地を訪ねる

唐戸市場付近

火の山

名優高倉健さんの遺作となった映画「あなたへ」。下関フィルムコミッションが撮影支援を行なったほか、公開後はフォトコンテストと全国のロケ地として連携して、ロケ地マップの作成やロケ地名産品プレゼント企画が実施された。

下関市内のロケ地となった唐戸市場大型バス駐車場付近は、映画公開時の宣伝物にメーンビジュアルに使用されるほどの代表的な場面。また、火の山では、ビートたけしさんが登場する非常に印象深いシーンが撮影された。下関市内のロケ地として、最も訪れて欲しいスポットとなっている。

旧下関英国領事館ライトアップとロンドンバスイルミネーション

明治34年に全国で3番目の英国領事館として開設された旧下関英国領事館（下関市唐戸町4―11）が保存修理のため休館していたが14年夏頃にリニューアルオープンし、好評だったライトアップも復活した。

08年にロンドンから下関市に無償貸与されたロンドンバス・ルートマスターが、あるかぽーと地区に展示されている。毎日イルミネーション展示を実施。バスストップ「時の停留所」、「恋人達のベンチ」などを設置し、幻想的な空間を演出している。

旧下関英国領事館

下関満関善席 高級フルコース

下関満関善席（平家茶屋）

下関の誇る高級食材と地産地消へのこだわり

下関市内の料亭や旅館ホテルでは、昨年10月から下関の全国に誇れるブランド食材や名産品などで作った最高級フルコース料理「下関満関善席」の提供をスタートした。提供開始後、ヒットしている。

下関が全国的に知名度を誇る食材のふぐをはじめ、あんこう、くじら、ウニ、特牛イカ、安岡ねぎ、垢田トマト、下関和牛、吉田茄子など地元の食材を使ったブランド力を生かしたフルコース料理。本家の中華料理の満漢全席と同じく、高級だけでなく、食べきれない程のボリュームとなっている。

料理は、審査を通過した認定店舗のみで味わえる。認定された店舗には、下関市から認定証と認定プレートが授与された。パンフレットには、15軒の旅館ホテル、飲食店が掲載されており、店舗ごとに1万円から5万円のコースが紹介されている。

メディアで取り上げられることが多い平家茶屋の「下関満関善席」コースは、1万3千円とリーズナブルな価格ながら、河豚の石焼、特牛イカの姿造り、垢田トマトの海水ジュレなどの創作料理が特徴的。とくに河豚の石焼は、新鮮なアンキモと安岡ネギを軽く石で焼いた河豚の身を巻いて食べる料理。新鮮なアンキモは、フォアグラ以上といわれる世界レベルの食材。水揚げ量日本一の下関ならではの食材で、わざわざ下関に訪れて食べる価値がある。

今後はシーズンごとに食材やメニューの見直しが行われるほか、昼食用のミニ下関満関善席も検討される。

しものせき観光キャンペーン実行委員会（下関市観光政策課）
山口県下関市田中町5―6　TEL：083―231―1350
http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/kanko/
※旅行関連業者対象コンテンツを公開中